

ムダをなくして 筋肉質に

米沢支部の講演会・交流いも煮会が、去る10月4日(土)午後3時30分から、 ホテルサンルート米沢で開催されました。

講演会は山形大学産学連携教授・柴田 孝氏を講師に迎え「ものづくり経営カイ ゼンーシニアインストラクター活用事例」と題した講話を聞きました。

柴田講師は、多くの中小企業が赤字経営とのデータから、ものづくり成長戦略と して、まず資産のムダづかいをなくし筋肉質の経営を実現すべきと提言。作業にお ける動きと働きの相違や、良い流れにするために、人が変わるー現場が変わる一会 社が変わる一ための良い設計が必要と説きました。

引き続き交流いも煮会に移り、参加者は和やかに歓談し、交流を深めていました。

生活の学生寮は敬遠された時期でした。有為会も平成4年あたりま

ブル時代は奨学金の支援を受けて進学する学生が激減

集団

ているのではないかと思っています。 くなっているか少ないかは不明ですが、



30 묵 第

(社)米沢有為会米沢支部 支部長 安部三十郎 米沢市金池5-2-25

有為会のPRと更なるご支援を

木

幸

☎ 0238-22-5111

平成27年3月10日 発行者

必ずいます。 ならなくても、 のでないか」という声を聴いたことがありますが、

つの時代も支援を必要としている人は間違いなく

有為会が百周年を越えた頃から、

「会の役目もそろそろ終わった

定員いっぱいに

えてきていますが、まだまだPR不足の感は否めません。

その後のITショックやリーマンショック後は少しずつ希望者は増

ていた時代だったような記憶があります。しかし、バブルがはじけ では奨学生の募集も東京仙台の学生寮の入寮生も少なくて頭を抱え

機構を除くと8団体が活動しているようです。 その中で大学や大学院への進学者を奨学生の対象にしている団体

形県内の奨学金事業団体は、平成26年9月現在で日本学生支援

世紀を越えた郷土の大先輩達の心意気を次代に繋いでいくために 置賜地域の支援を必要としている若い人たちのために、 会員の皆さんには有為会のPRと更なるご支援をお願いする次

それぞれの地域などで奨学事業を展開しています

募集する奨学生の数は減っ

団体は米沢有為会だけではないかと思います。

学生寮を東京と仙台にそれぞれ持ち、

まちの話題

N H K かぶき者慶次」が放映されます。 木曜時代 劇



次の魅力を楽しみましょう。 るとのことです。 劇は4月9日から11回放映され 組とお聞きしました。この時代 に住んでいたころの痛快親子番 がドラマ制作するとは思いませ ましたが、こんなに早くNHK にしてほしいなどの要望があり ました。前田慶次を大河ドラマ んでした。それも慶次晩年米沢 大きな期待と楽しみが湧いてき たーと叫び喜び興奮しました。 れ、驚きました。そしてやっ 16日に制作開始の情報が 新たな人間慶 発を覚える。だが、ここぞという に名高い猛将らしくない慶次に反

中で、 まれた晩年をドラマ化します。 迎合していく者を良しとする世の ŧ, ているだけでよいのか? 晩年を描いた痛快時代劇! (おとこ)・前田慶次。その謎に包 かぶき者 慶次 言いたいことも言えず、 衝突を恐れ、他人の意見に従 戦国一のかぶき者・前田慶次の 信じる価値観のため戦った漢 志を失わなければ、 年をとり、立場が変わって 輝き続けることができるー (NHK報道資料より 人は 権力に

米沢の地の粗末な庵に細々と暮ら る道を選ぶ。60歳を超える慶次は 米沢を去っていく。そんな中で、 前田慶次はこの地にとどまり続 衆の多くは将来に見切りをつけ、 大減封されることになった。組外 で勝利したころ。上杉家は会津 120万石から出羽米沢30万石に 時は、 方で息子の新九郎は、風流三 一潮時」を考えていた。 困難に立ち向かう人々と生き 徳川家康が関ケ原の合戦

出音原脚 青江山波 藤 渡辺

真島 火 伊 武 秀和 雅刀 (又吉) (石田三成 (天徳和尚 (北川次右衛門 ほか

田 佐 中 藤 中 製作総括 内藤 田畑 出 慎介、 智子 世 原 林

志 佐

り子

渡和和

田田

信 寿 茂 祐 浩

賀 藤

樹

渋 完

邦 陽 秀 ま

武

史

んが急性すい炎のため急逝されま※計報です。2月26日火坂雅志さ した。ご冥福をお祈りいたします

第に新九郎は本当に人間を知っ 命を投げ出すことも厭わない。 ている者のみが持つ度量の大き ながらも、上杉家を守るためなら 彼の生きざまに魅せられてい 次

放送予定

NHK木曜時代劇

2015年4月9日~6月 夜8:00~8:43 総合テレビ 火坂 小松江里子 每週木曜日 雅志 (連続 18 日 11 П

> 藤 澤 部

俊幸

遠 梅 井 伊 井 安 安孫子

藤 沢

敏 男

和 英

西内まりな 工藤阿須加 倫子 P (前田佐乃) (前田 前田 (安田勝之進 (前田美津) (前田新九郎 |慶次 華

菅官上片片柿

玲 重 悦昌

子 則

ジーエスデザイン株

角田 信朗 田草壇 畑笛 蜜 (雪夜 竹 雫 和泉局

後

博

黒 黒 京

由正

美明 信

教 宏治

> 羽 西 南 中

語 6) 麻奈

> 佐 佐々一

文 明 司 健 昭

我 我

妻

齋 紺 後

吉

B 迎 皆 俣

黒

聡 浩 政

木 藤 野 藤 藤

英 康

美

ショ

佐

哲

時で「かぶく」慶次。

引退を考え

酒好きオヤジ、さっぱり世

新 しく会員になられた方々

[個人会員] 印は正会員)

法人会員

雄 神 保 保 雅

Ш

Œ

多 髙 髙 高 須 屋 賢 俊 石橋医院 ㈱青葉堂印刷 有今泉商店

ション

治 弘 雄

慶太郎 人 治 守

我妻建材工業株

えてくれる先輩方は心強い存在でし に助けられました。聞けば何でも教

組んでいきたいと思います

لو

優しくて面倒見がよくて頼れる

IJ 随 想 (16)

寮生活を振り返る

合 祐

弥

ちょうど10年になります。私は学生 なりました。 から社会人になり、 譲館寮の門をくぐったあの春から 高校を出て大学に進学し、 夫になり、 仙台興

振り返ってみると、寮で過ごした

れにまかせ「自分で決める」経験が ば、これまたすごい数の選択肢。 予想外。アルバイトをしようと思え まづきます。 と思います。 選択しなければならないのは全くの ターニングポイントでした。そして たれた私は なんと恵まれた環境だったんだろう 大学の4年間は自分の人間づくりの 高校という限定された空間から放 「自由と責任」に早速つ 講義や時間割を自分で

高いハードルでした。 なかった当時の私にしたら、 ただ同じ屋根の下の同郷の先輩方 それは

とは言うまでもありません。 寮の方が居心地いい場所になっ らずの大学生活でした。実家よりも 先輩たちのおかげでホームシック そしてやはり大きいのは寮母さん

をやっております。それから女性に く過ごしています。 までパートナーを迎え、 (?)をいただきました。 対する愛情と誠意について、ご説法 に」などと恥をかくことなく社会人 の存在。 した。「最近の若いのは掃除もろく 気に大学に通うことができました。 をいただきました。風邪もひかず元 徹底的な掃除の仕方も教わりま 毎日手づくりの温かいご飯 家族で楽し おかげさ

説明会など、 ちへご指導いただきたいです。 再会。 ていくことを願い、 だったそうで、とても嬉しい突然の らちょうど仙台の寮へ戻るところ たら寮母さんでした。岩手の自宅か のある声に呼び止められ、 スーパーに立ち寄ったときのことで 沼市)へ向かう途中に岩手県内の 受け継がれてきた人づくりが続い つい先日、妻の実家 「落合君!」とどこか聞き覚え いつまでもお元気で、 自分ができる形で取り 高校での保護者 (宮城県気仙 振り返っ 寮生た

活躍する会員紹介 18

> 川西町教育委員会 教育長

> > 庄 小 野

まず、経歴をお聞かせください。

仙川の東京興譲館寮に6年間お世話になり、かつ 奨学金も貸与していただきました。我妻先生の学士 会館での激励会、砂防会館での東京支部総会、二子 玉川園での園遊会など数え切れないご指導をいただ き、今あるのは、米沢有為会のおかげと心から感謝 しております。

教育長に就任されたのはいつですか。また、 その経緯をお聞かせください。

平成24年4月からです。修士課程修了後米沢に 教員として戻り、初任が米沢東高校でした。生まれ が玉庭でありかつ置賜農業高校校長としての勤務も あったので、スムーズな川西町での「教育での恩送 り」が実現しました。



Q3 就任時話題となりま した小学校の統合問題はど うなりましたか。

統合計画は一度こじれて おりましたので、地区民の 合意形成のための方法や手 順の検討に多くの時間を費 やしました。そして、よう

やく今春から具体的な話し合いが始まります。

Q4 今後の抱負をお聞かせください。

県内初で地域住民が学校運営に携わるコミュニ ティ・スクールと学校支援地域本部事業を軸にして 地域活性化につなげたい。21世紀は農業の時代。 6次産業と地産地消を重視し、農の心を育てたい。

Q5 本会に望むことはありますか。

置賜が消滅することはないとは思いますが、著し い人口減少と高齢社会になっており、強い危機感を 持っています。今こそ、若者の雇用創出や地域の発 展のために本会が総がかりで対応すべき時かもしれ ません。英知を結集した対応と挑戦を心からご期待 申し上げます。

米沢有為会を支援します



本 多 作之助

住宅の新築部門・リフォーム部門、住宅の新築部門・リフォーム部門、本島には不動産部門の3つの分野をもして、常陽市を中心としたエリアの中で活動をしている地域密着型のの中で活動をしている地域密着型の

新築部門では、ママ応援住宅「マエール」や、子育て世代応援住 無理のない資金計画で持つことがで きる夢のマイホームづくりの応援を しています。

エ事から、水まわりの改修、さらに は全面リフォーム工事までを行い、 年間600件の実績を積んでいます。 年間600件の実績を積んでいます。 中土地の流通を中心に行い、新築部 や土地の流通を中心に行い、新築部 で、リフォーム部門と連携したワンストップでのご提案を行っています。 創業して42年。住宅一筋に社員一丸となって取り組んでいます。 有たなって取り組んでいます。 が、リフォーム部門では、細かな修繕

> 日々研鑽に努めています。 日々研鑽に努めています。 日々研鑽に努めています。これからも地域の皆様よりたくさんの信頼をいたがにもスタッフ一同で、それぞれのがにもスタッフー同で、それぞれのがにもり、地のというでは、

Man 見学会やイベントなどを月に1回見学会やイベントなどを月に1回見学会やイベントなどを月に1回

されましたが、都度対応してきまし





石田一郎 代表取締役

まったく異質の印刷方式に技術革新信条とし地元企業や官公庁など、固信条とし地元企業や官公庁など、固信条とし地元企業や官公庁など、固定客を中心とした受注体制を構築で一時中断したものの、地域密着をで一時中断したものの、地域密着をで一時中断したものの、地域密着をで一時中断したものの、地域密着をで一時中断したものの、地域密着をでした。

いるようで残念です。

い伝統が、近年はその絆が薄らいで

葉だと聞いています。 「老舗」とは、100年以上の歴 り越えてきた者だけに与えられる言 り越えてきた者だけに与えられる言 との強い信頼関係により、荒波を乗 との強い信頼関係により、荒波を乗

思っています。
思っています。
とで、今後も地域顧客様を大切にことで、今後も地域顧客様を大切にしながら、発展させていきたいと

中央で御活躍されている実力者が少のは一時期に当時、著名作家が毎年、なっていました。米沢有為会会長で、なっていました。米沢有為会会長で、なったと後日知りましたが、近年はだったと後日知りましたが、近年はだったと後日知りまで、米沢有為会で特に印象深いさて、米沢有為会で特に印象深い

習い受け継いでいく米沢有為会の良に、奨学資金・学生寮を充実させ、さらには就職の相談まで、御尽力されました。
先輩は良い手本となり、後輩は見れました。

てみたいものです。
今後は、米沢市民と米沢有為会が、

編集後記

今年は戦後70年とあってマスコミなどでは特集が組まれるようになった。首相の戦後70年談話も注目されている。8月に向けてこうした企画はどんどん増えていくだろう。

平成も27年となり、昭和がどんどん遠ざかる。戦争を語れるんどん遠ざかる。戦争を語れるけられない。悲しいことだ。できることは平和が続くことを祈きることは平和が続くことを祈るだけか…。(山)